



夕刊

発行所 中日新聞社
 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
 〒460-8511 電話 052(201)8811

名古屋出身 水谷さん 撮影続け10年

世界各地で撮った笑顔の写真を発表し続けている名古屋市中区出身のアートディレクター水谷孝次さん(五七)＝東京都港区の活動「MERRY PROJECT(メリープロジェクト)」が今年、十年を迎え、撮った笑顔は三万人を超えた。写真の一部は、愛知万博や北京五輪の開幕式会場も飾った。「世界中すべての人の笑顔撮るのが夢」と、水谷さんは今後も笑顔を探し続ける。

「あなたにとってのメリー(幸せ、夢)は何?」と子どもに問い、シャッターを押す。「お母さんといる時」「京劇役者になれたらうれしい」。笑顔の下にメッセージ。そんな写真をこれまでで二十三カ国で撮った。

写真は大きく引き伸ばし、東京、名古屋、神

3万の笑顔 輝く



戸、ロンドン、ニューヨーク撮影は十分間ほどだったと国内外で聞く催したが「見た者に力を与えて展示した。「笑顔はる、自然な笑みの美しさ力。子どもの笑顔は未来が心に焼き付いた」への希望」との思いが過酷な活動を支える。

始まりは一九九九年。北京五輪開幕式で世界旅先の米国で、同じバスの子どもの笑顔を使うとに乗った少女の笑顔に力という構想を知り、一人でメラを向けた。会話もせ 北京に乗り込み、演出を

「メリー」探して世界行脚

担当した張芸謀監督に協力を申し出た。昨年八月、開幕式会場の「鳥の巣」を彩った二千八枚の笑顔の写真のうち千百枚以上は、水谷さんの写真だった。

活動を知った岐阜県の郡上市商工会青年部員から招かれ、昨夏、同市高鷲町に植樹や野菜作りを行う「メリーの森」を設けた。「子どもたちが自然の中を笑顔で走り回ることを通じて、環境の大切さを考えてほしい」との思いから。昨年末には活動をまとめた記録集を発売。表紙には郡上市のスキの間伐材を使った。

「笑顔に出会い私も幸せになる。だから続けていられるんです」と水谷さん。アジア各地での地震被害者の支援イベントや上海万博に向けた活動など新たな企画も練っている。

世界各地で撮った笑顔の写真に囲まれる水谷孝次さん＝東京都港区で(水谷さん提供)